

審査評価項目

要件項目	仕様書 記載箇所	評価項目
1. 基本事項		
① 本調達の目的	2	・本業務を遂行するにあたり、提案者の取り組み姿勢を記述すること。 ・本業務を遂行するにあたり、次にあげる導入効果を得るためには、どのような点に留意し、どのような機能を備えどのように実現していくか、それぞれ記述すること。 ①業務の効率化 ②事務処理ミス発生リスクの低減
② スケジュール	6	・本稼働までのスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 ・クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期について記述すること。 ・契約締結後、本稼働までの期間について、本市との協議日程や協議テーマを一覧で記述すること。
2. パッケージシステム		
①-1 パッケージシステム(全般)	－	・システムの概要、機能、特徴、適用範囲、適用方法および推奨理由のすべてについて記述すること。 ・システムの全体像をイメージ図、アプリケーション構成図等を用いて記述し、システムにおける開発内容や構築範囲を明確にすること。 - また、想定される課題、問題点がある場合について、提案システムでの解決方法・実現方法などを記述すること。
①-2 パッケージシステム(業務効率化)	－	・個別医療機関から返ってきた注射済票の登録時に入力事務を効率化する機能を記述すること。(例：一括入力機能、連続入力機能等) ・その他、業務効率化に資する機能があれば記述すること。
①-3 パッケージシステム(注射案内)	－	・毎年飼い主に注射の案内を発送している。封入封緘作業の効率化、郵送料の削減等の観点から、対応方針を記述すること。
② データ移行	7.3	・移行方法・本市と貴社の役割分担を提案すること。
③ セキュリティ要件	7.4	・不正アクセス等によるシステム内の情報漏洩のリスクへの対策について記述すること。 ・不正アクセス等、情報漏洩につながる事象が発生した場合の対応について記述すること。
④ 機器要件	8.1 ～ 8.4	・機器要件に記載の内容を踏まえ、パッケージシステムを安定稼働させるために必要なハードウェア・ソフトウェアについて提案すること。 (サーバ台数・U数・CPU、メモリ、ディスクなど) ・拡張性に関する考え方を記述すること。本市の機器要件を前提に、新システムとして有効な拡張性を担保する構成を提案すること。 ・サーバを本市に設置する以外の方法を採用する場合は、別の手法を採用する理由・メリットを記載すること(LGWAN経由でのサービス利用、スタンドアロン型等)。 ・バックアップについて、装置の性能、容量、処理方法、処理周期(日次、週次等)及びバックアップ方式、バックアップを取得するために職員がしなければならない内容がある場合はその内容について記述すること。
⑤ 信頼性要件	8.5	
3. 開発・保守		
① 開発要件	9	・開発に際しての貴社と本市の役割分担を工程別に記述すること。 ・貴社が想定している開発工程毎の作業場所に関して記述すること。
② 進捗管理	9.4	・作業遅延やテスト段階での大幅な手戻りなど、工程管理上の遅延が発生した場合の考え方について具体的に記述すること。 ・仮に工程管理上の遅延が発生してしまった場合の対策について具体的に記述すること。
③ 保守要件	10	・貴社が考える運用保守の業務内容を記述すること。 ・システム利用者全体に与える障害が発生した場合を例に挙げ、障害発生時の対応方針、対応体制について記述すること。 ・障害発生時のデータ復旧の方針について記述すること。
4. その他		
① 研修	11.1	・本調達範囲における研修に関して、具体的な実施内容と、想定する研修スケジュールも記述すること
② マニュアル	11.2	・本調達範囲におけるマニュアル作成に関して、マニュアルの種類ごとに貴社の考え方、具体的な実施内容、貴社と本市の役割分担について記述すること。
③ 追加提案	－	・今回の調達において、特別に提案する機能や要件があれば提案すること。 - 記述する際は、調達の費用内か費用外かについても記載すること。